

南極の海洋哺乳類を探索する旅へ  
白銀の大自然と野生生物に感動

# 南極クルーズ 14日間

地球最期の秘境・南極を訪れませんか。

壮大な大自然、躍動する動物たち、そこには太古の大自然が息づいています。

静寂の中、海に浮かぶ青く輝く氷山。耳を澄ませば、太古の音が聞こえてきそうです。

南極滞在中は南極大陸への上陸、ゾディアックボートを駆使したクルージングなど、迫力の観光がお楽しみいただけます。  
さあ、冒険しよう。未だ見ぬ南極へ。

東京出発～帰着まで  
添乗員同行

南極大陸  
上陸

白銀世界に棲む  
野生動物との出会い

◆旅行期間

2027年3月4日(木)～3月17日(水) <14日間>

◆旅行代金 2名1室利用／大人お一人様：インフィニティスイート～オーナーズスイート  
3,580,000円～5,520,000円



# 耐氷船『ワールド・ボイジャー』で航く 南極探検クルーズ14日間

旅行開始日～終了日  
2027年3月4日(木)～3月17日(水)

- 利用客船：耐氷船「ワールド・ボイジャー」
- 添乗員：東京(成田または羽田)出発から帰着まで全行程同行します。
- 食事条件：朝食10回、昼食8回、夕食9回(機内食は除く)
- 航空会社：エミレーツ航空、チャーター機(いずれもエコノミークラス利用)
- 宿泊ホテル：エンペラードール、アルペアルアート、ソフィテルブエノスアイレスコレータ、ヒルトンブエノスアイレス、インターベンチネンタル、シェラトンブエノスアイレス、他同等クラスホテル
- 最少催行人員：4名

## ■ 旅行代金(お一人様)

利用客船		ワールド・ボイジャー
旅行開始日	03月04日(木)	
旅行終了日	03月17日(水)	
期間	14日間	
相部屋可	インフィニティスイート	3,580,000円 (1,790,000円)
	ペランダスイート	3,680,000円 (1,840,000円)
	スペリアスイート	4,480,000円
	デラックススイート	4,780,000円
	オーナーズスイート	5,180,000円
ビジネスクラス利用追加代金 (東京＝ブエノスアイレス間)		お問い合わせください

- 団体航空運賃(エコノミークラス)は旅行代金に含まれています。
- 航空機のビジネスクラス利用は、東京＝ブエノスアイレス間のみです。  
ブエノスアイレス＝ウシュアイア間はエコノミークラス利用となります。
- 以下の代金は旅行代金に含まれております。

  - ・燃油サーチャージ(目安)：106,580円(2026年1月現在)
  - ・税金等：25,030円
  - ・船内チップ(目安)：1日あたり20～25ドル ※船内にて清算

- ご旅行代金の残金は、**出発5カ月前まで**にお支払いいただきます。
- 国内線発着追加代金
  - ・名古屋/セントレア空港、大阪/伊丹空港発着：25,000円
  - ・北海道、東北、四国、北陸、九州発着：35,000円
※国内線利用の場合、旅客施設利用料(PFC)が往復必要となります。  
※各地からの国内線乗継便は、国際線発着時間の24時間以内の便となります。  
※各地からの国内線空港が国際線空港と異なる場合、羽田空港→成田空港間の移動費用はお客様負担となります。  
※国際線の発着時間により、日本国内乗継ができない場合があります。前泊/後泊が必要となった場合、その宿泊代金はお客様負担となります。



## ■ 地図



※地図はイメージです。

## ■ スケジュール

日次	月/日(曜)	日 程			食事 朝 昼 夕	宿泊
		朝	昼	夕		
1	3/4(木)	夜	東京発 空路、中東都市内へ			機中
2	3/5(金)	早朝 午前 夜 夜 夜	中東都市内到着後、乗り換えて 空路、ブエノスアイレスへ ※リオデジャネイロを経由 ブエノスアイレス到着 専用車にてホテルへ ホテル到着後、チェックイン＆宿泊			ブエノス アイレス
3	3/6(土)	早朝 朝 正午 午後 午後 午後	朝食後、団体バスにてアエロパルケ空港へ チャーター機にて空路、ウシュアイアへ ウシュアイア到着 集合時間まで自由散策 再集合、団体バスで客船へ 乗船、 <b>南極に向けて出航</b>	H	○	船中
4	3/7(日)	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	船中
5	3/8(月)	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	船中
6	3/9(火)	終日	南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	船中
7	3/10(水)	終日	南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	船中
8	3/11(木)	終日	南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	船中
9	3/12(金)	終日	南極半島とサウスシェトランド諸島観光	○	○	船中
10	3/13(土)	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	船中
11	3/14(日)	終日	ドレーク海峡横断クルーズ	○	○	船中
12	3/15(月)	午前 午前 午後 午後 夜	ウシュアイア入港、下船 団体バスでウシュアイア空港へ チャーター機にて空路、ブエノスアイレスへ エセイサ空港到着後、乗り換えて 空路、中東都市内へ ※リオデジャネイロを経由		○	機中
13	3/16(火)		中東都市内に向けて飛行			機中
14	3/17(水)	深夜 午前 夜	中東都市内到着後、乗り換えて 空路、帰国の途へ 東京到着後、解散、おつかれさまでした			

※食事欄の「○」は船内食及びレストラン食、「H」はホテルを表します。(機内食を除く)



## 海外旅行保険ご加入のご案内

南極探検クルーズでは、人間の住んでいない遠隔地を訪れます。病気や怪我等で緊急に治療が必要になった場合、南極から高度な医療設備の整った病院へ搬送するため航空機チャーター等、莫大な費用が発生します。南極旅行にご参加いただくお客様は、海外旅行保険(傷害死亡、傷害後遺障害、治療・救援費用等を含む3千万円以上の保険タイプ)への加入が参加条件となります。尚、クレジットカード付帯の海外旅行保険ではご旅行をお引き受けできません。予めご理解ご了承ください。



## ■ 詳細日程

### 1日目 | 3月4日(木)

東京発→中東都市内へ

夕刻、東京(成田または羽田)へ集合。  
深夜、空路、中東都市内へ向かいます。

### 2日目 | 3月5日(金)

→中東都市内着/発→ブエノスアイレス着/泊

早朝、中東都市内に到着。乗り換えて空路、リオデジャネイロ経由ブエノスアイレスへ向かいます。

夜、ブエノスアイレスに到着後、入国・通関手続き。終了後、専用車にてホテルへ。ホテル到着後、チェックイン&宿泊。明日のフライトに備えて、ごゆっくりとお休みください。

### 3日目 | 3月6日(土)

ブエノスアイレス発→ウシュアイア着/乗船

午前、ホテルで早めの朝食を取った後、団体送迎バスにてブエノスアイレスのエアロパルケ空港へ移動します。エアロパルケ空港到着後、搭乗手続きを行い、チャーター便にて空路、南米最南端のウシュアイアへ向かいます。

正午、ウシュアイア到着後、団体送迎バスでウシュアイア市内中心地へ移動します。乗船までの時間、南米最南端の町ウシュアイアでの一時をお楽しみください。

世界最南端の港町ウシュアイアは、パタゴニア地方や南極への旅の玄関口として、また交通の要所として栄えています。海と山に囲まれた美しいウシュアイアの町の散策をお楽しみください。手づくりチョコレートやアルゼンチンワインなどお土産も充実しています。

午後、乗船手続きを行い、夕刻、いよいよ南極へ向けてウシュアイアを出港し、ビーグル水道を航行します。

ビーグル水道は、チャールズ・ダーウィンが世界周航したビーグル号に因んで名づけられたことでも有名です。私たちの船出を祝うかのように山裾に開けたウシュアイアの町が夕日を浴びて光り輝き、船尾には多くの海鳥が追いかけてきます。

### 4~5日目 | 3月7日(日)~8日(月)

ドレーク海峡横断クルーズ

天候の予測が難しいことで有名なドレーク海峡を横断します。ここでは刻々と天候や海象の状況が変化しますので備えが必要です。

船内では南極条約、南極訪問者のガイドライン、ゾディアック・ボートの利用方法や南極の野生生物、探検の歴史、南極の自然などのレクチャーが始まります。

### 6~9日目 | 3月9日(火)~12日(金)

サウスシェトランド諸島と南極半島観光

暖流と寒流がぶつかる肥沃な海域の南極収束線を越えると、地理的にも生物学的に南極地域に入ったことになります。やがて南極大陸が見えてくると、ついに地球最後の秘境へやってきた実感が湧いてくることでしょう。

この行程では1日平均2回、上陸観光やゾディアック・クルージングを予定しています。入り組んだ氷河の湾部や氷山のひしめく水路などを探検、営巣地のおびただしい数のペンギンやアザラシ、クジラなどとの出会いをお楽しみください。

南極半島には標高の高い山々が多く、最高地点は海拔2,800mほどあります。

オーンハーバーに停泊する際は雪道を辿り、360度、白銀のパノラマが広がる絶景ポイントへとご案内いたします。また、この山の尾根はヒゲペンギンの巨大な営巣地となっています。もちろん、海岸線でかわいいペンギンを見ながらお客様のペースで見学していただくこともできます。

さらに「ポーラー・プランジ」と呼ばれる「南極海飛び込み大会」も予定されています。笑いあふれる楽しい参加型イベントをお楽しみください。

ネコハーバーでは、ペンギンたちが氷河の裂け目で砂利を巻き上げながら、大騒ぎで小競り合いをしているさまをご覧いただけるかもしれません。

その他、壮大な氷河が印象的で風光明媚なパラダイス湾や、陥没した火山性カルデラの巨大な営巣地へと通じるデセッション島などを訪れる予定です。

また、かつてイギリス観測基地だったポートロックロイは、今では博物館兼郵便局に生まれ変わっており、お土産の購入や絵葉書を郵送することもできます。

パックアイス(流氷)や氷山に阻まれなければ、高くそびえる岩肌と氷河に挟まれた絶景のノイマイヤー海峡やルメール海峡の航行も予定しています。

航路によっては、ルメール海峡をさらに南へ航海してピーターマン島や、或いは南極半島の北側を周ってアイスバーグラー(氷山小路)への探検航海をする場合もあります。ここは巨大なテーブル型氷山が北へ向かって漂流し、南極海峡へと流れ込む場所です。

天候と氷の状態が許せばポーレット島に上陸し、ゾディアック・ペンギンの巨大な営巣地を見学する場合もあります。乗船中はエクスペディション・チームによる野生生物の生態や南極の自然、探検の歴史などのプレゼンテーションも予定しています。

さらに各ポイントにおいてカヤックやキャンプなどのアドベンチャー・オプションもご用意しております。

### ＜ご案内＞

今回、新たに組み込まれた市民科学プログラムには、ポータブルハイドロフォン(水中聴音装置)が導入され、南極の海中世界へと音声を通してアクセスできるようになりました。

この特別な南極探検クルーズでは、カルフォルニア大学で高い評価を得ている海洋哺乳類研究グループ「フリードレンダー研究所」の創設者、アリ・フリードレンダー氏が乗船し共に探検クルーズをしていきます。

フリードレンダー氏はミンククジラ、ザトウクジラ、ナガスクジラを中心南極へ回遊するクジラの観察を最大限に楽しめる旅行を考案し、航海中はフリードレンダー氏のチームから海洋哺乳類の知識や生態系について学ぶことができます。

この南極旅行で動物たちとの感動的な出会いとクジラ専門家との交流、市民科学プロジェクトによる貢献をお楽しみください。

### 10~11日目 | 3月13日(土)~14日(日)

ドレーク海峡横断クルーズ

南極大陸に別れを告げ、再びウシュアイアに向けて進路をとります。最後のプレゼンテーションではこの探検クルーズを振り返ります。

### 12日目 | 3月15日(月)

ウシュアイア下船/発→ブエノスアイレス着/発→

朝、ウシュアイアに入港。朝食後、下船をして団体送迎バスでウシュアイア空港へ移動します。

午後、チャーター便にて空路、ブエノスアイレスへ向かいます。ブエノスアイレス到着後、国際線に乗り換えます。

夜、空路、リオデジャネイロを経由して中東都市内へ向かいます。

### 13日目 | 3月16日(火)

→中東都市内へ

中東都市内に向けて飛行。

### 14日目 | 3月17日(水)

→中東都市内着/発→東京着/解散

深夜、中東都市内に到着。

午前、乗り換えて、空路、東京(成田または羽田)へ向かいます。

夜、東京到着後、入国・通関手続き。終了後、解散。おつかれさまでした。

# ワールド・ボイジャー

## World Voyager

ワールドボイジャーは、極地世界を深く探求したいという探検心をかき立てる、最新鋭の近代的探検船です。全室にバルコニーを備え、船上からは雄大な極地景観を一望。プレゼンテーションシアターーやサイエンスハブなど、あらゆる設備が極地の魅力を探求する精神が、船全体の設計思想に反映されています。航海中も快適にお過ごしいただけるよう、スパ、サウナ、プール、ジャグジー、屋外ランニングトラックなどのウェルネス施設を完備。

また、スタイリッシュなレストランや広々としたラウンジでは、旅仲間との語らいやその日の出来事を共有するのに最適です。中でも特徴的なのが「サイエンスハブ」。科学者やエクスペディションガイドが乗船し、サイエンス＆ディスカバリープログラムの一環として、知識や見識を乗客と共有することができます。さらに、ロールスロイス社製の最新推進技術により、南極海での航行中も高い静肅性と快適性、そして優れた燃料効率を実現しています。

### シップデータ

- 改装年: 2020年
- 航海速力(開水域): 16ノット
- 乗組員&探検スタッフ: 125名
- 全長: 126m
- 喫水: 4.7m
- 総トン数: 9,934トン
- アイスクラス: 1B(耐水船)
- 乗客定員: 168名
- 全幅: 25m
- 船籍: ポルトガル



レストラン/イメージ



パノラマラウンジ/イメージ



サウナ/イメージ



屋外ランニングトラック/イメージ



インフィニティスイート/イメージ



ベランダスイート/イメージ

客室タイプ	客室の設備	広さ	デッキ
インフィニティスイート	床から天井までの大きな窓、ツインベッド、バスルーム	25m <sup>2</sup>	5・6
ベランダスイート	バルコニー(5m <sup>2</sup> )、ツインベッド、バスルーム	25m <sup>2</sup>	5・6
スーパリアスイート	バルコニー(9.5m <sup>2</sup> )、ツインベッド、バスルーム	34.5m <sup>2</sup>	5・6
デラックススイート	バルコニー(9.5m <sup>2</sup> )、ツインベッド、バスルーム	41.5m <sup>2</sup>	5
オーナーズスイート	バルコニー(9.5m <sup>2</sup> )、ツインベッド、バスルーム	43.5m <sup>2</sup>	5・6

ご旅行条件(抜粋) お申し込みの際には必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上、お申し込みください。

#### ● 募集企画旅行契約

この旅行は、株式会社クーズライフ(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする確定書面(最終旅行日程表)及び当社旅行業約款(募集企画旅行契約の部)によります。

#### ● 旅行のお申し込みと契約の成立時期

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、下記に記載した申込金を添えてお申込みください。申込金は旅行代金、取消料または違約金のそれぞれ一部または全部として取り扱います。電話、郵便、ファクシミリ及び電子メールとの他の通信手段による旅行契約の予約申し込みを受け付けることがあります。この場合、予約の時点では契約は成立しておらず、当社から予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをして頂きます。この期間内に申込書の提出と申込金の支払いがなされない場合、当社はお申し込みがなかったものとして取り扱います。旅行契約は当社が予約の承諾し申込書と申込金を受領した時に成立します。

#### ● 旅行代金のお支払い

旅行代金(又は申込金を差し引いた残金)は、旅行開始日の前日から起算して遡つて150日目に当たる日より前にお支払い頂きます。

#### ● 旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した航空(エコノミークラス)、船舶の運送機関の運賃・料金・宿泊料金(税・サービス料金を含む)、送迎バス等の料金、観光料金(バス料金・ガイド料金・入場料を含む)、食事料金(税・サービス料金を含む)、航空会社規定の手荷物運搬料金・添乗員同行費用、防寒上着(パカ)、ゴム長靴レンタル。

※お客様のご都合により、旅行代金に含まれるもの一部を利用されなくとも払い戻しは致しません。

#### ● 旅行代金に含まれないもの(左記の他は旅行代金に含まれません)

一部を例示します。航空会社の規定を超えた超過手荷物料金、クリーニング代・電話料等個人的性質の諸費用、船内チップ、傷害・疾病に関する医療費、渡航手続関係諸費用(旅券印紙代、査証料、予防接種料金等)、日本国内における自宅から発着空港等集合・解散地までの交通費や宿泊費等、希望者のみが参加するオプションツアーライフの料金、日本の空港の空港施設使用料等、海外の空港・空港税・出入国税・港湾施設使用料、運送機関が課す付加運賃・料金(燃油サーチャージなど)。

#### ● お客様による旅行契約の解除

旅行契約成立後、お客様は下記に記載した取消料をお支払い頂くことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。但し、契約解除のお申し出は、お申込みの旅行取扱店の時間内にお受けします。

申込金	旅行代金の25%
フライ＆クルーズ旅行約款適用コース	
取消日	取消料
旅行開始日の前日から起算して	予約時～150日前まで 無料
149日前～90日前まで	旅行代金の37.5%
さかのぼって	89日前～当日まで 旅行代金の50%
旅行開始後・無連絡不参加	旅行代金の100%

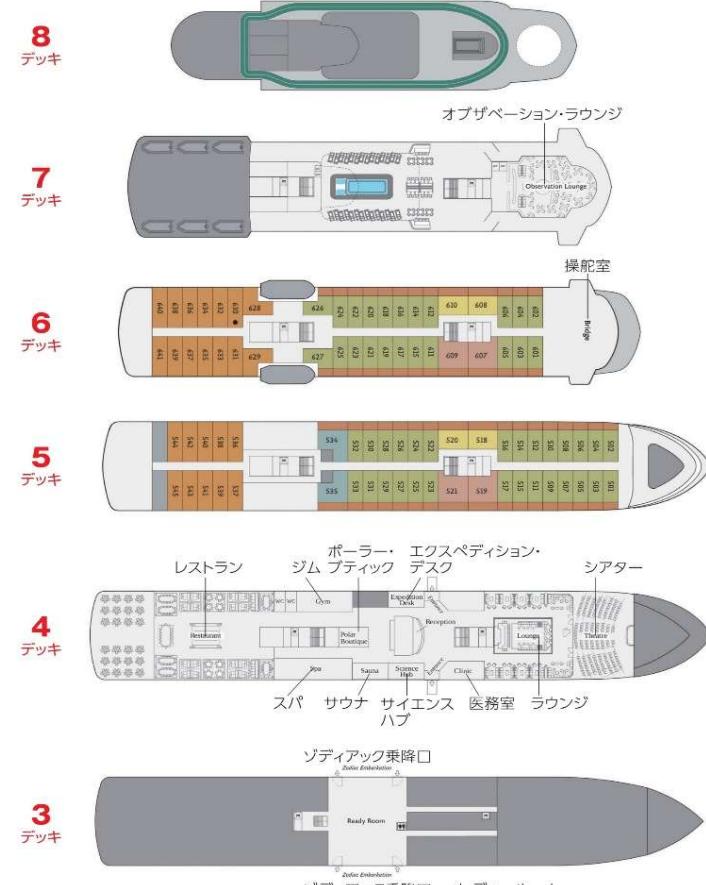
※本コースは「フライ＆クルーズ旅行」に適用される取消料条件となりますので、ご注意ください。

※取消料の基礎となる旅行代金とは、旅行代金に追加料金を含めた合計金額となります。

※お客様の取消により1人1部屋となった場合、1人部屋追加代金が必要となります。

※ご旅行をキャンセルされる場合には、必ず文面にてご連絡をお願いいたします。

※ご旅行をキャンセルされる場合には、別途、取消手数料として11,000円をお申し受けします。



## ■ 旅行企画・実施

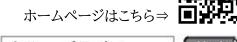
カーネギー・エクスペディションズ社 日本地区正規代理店  
株式会社クルーズライフ

観光庁長官登録旅行業第2054号  
一般社団法人日本旅行業協会 正会員

〒107-0051

東京都港区元赤坂1-7-20 元赤坂ウエスト5階

TEL: 03-6228-3981 / E-mail: contact@cruiseline.co.jp



ホームページはこちら⇒

クルーズライフ

検索

## ■ (受託販売) お申し込み・お問い合わせ

※パンフレットの画像はすべてイメージです。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行契約に関し、担当者からの説明に不明な点がございましたら、ご遠慮なく総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。